

## わたらしい生き方を選択するためのワークショップ事業について —キックオフセミナーの報告と今後の展開—

### 1 要旨・目的

「わたらしい生き方応援プランひろしま」に基づき、性別に関する固定観念を解消し、性別にかかわらず、人生のステージに応じた様々な働き方、学び方、生き方を実現する人が増えることを目指す取組として、わたらしい生き方を選択するためのワークショップ事業を行っており、その状況について報告する。

### 2 現状・背景

自らが望む仕事や生き方を選択することに躊躇する要因の一つとして考えられる無意識に刷り込まれている「性別に関する固定観念」を解消するため、昨年度から取組を行っている。

#### <令和3年度事業開始>

##### **若い世代で考える参加型講座** (令和3年9月、10月)

性別に係る固定観念への違和感や課題について意見交換を実施。就活ファッションや仕事の選択、結婚前提のライフプラン、メディアで描かれる家族像などの意見や課題が出された。計2回。

##### **ゲストスピーカーと話し合う交流会** (令和3年12月～令和4年3月)

参加型講座において参加者から出された意見等を基にテーマを設定し、課題解決のためのアイデアについて意見交換を実施。テーマは、男性又は女性少数職場での問題、就活事情、女性活躍と働き方、家族の形の計4回。

#### <令和4年度の事業展開>

##### **課題解決に向けた展開**

交流会で出された課題解決に向けた意見やアイデアを実現するために、ゼミナール形式で実践活動等のワークショップを行う。

##### **(1) キックオフセミナー** (令和4年6月)

ゼミナール形式のワークショップのスタートイベントとして実施。

##### **(2) ゼミナール形式のワークショップ** (令和4年8月～)

少人数のゼミナール形式で、課題解決策の企画・実践を行う。

### 3 概要

#### (1) キックオフセミナー (実施済)

##### ア 実施主体

広島県 (委託先: 公益財団法人 広島県男女共同参画財団)

##### イ 実施日時

令和4年6月4日 (土) 13:30～16:00

##### ウ 場所

エソール広島 (広島市中区大手町1-2-1 おりづるタワー10階)

## エ 実施内容

項目	ゲストスピーカー	内容
セミナー	まえだ こうへい 前田 晃平さん (認定 NPO 法人フローレンス代表室長)	育休を取得して気づいた男性の家庭進出の必要性や性別に関する固定観念、女性の社会進出等に関する課題提起
ゲストスピーカーの体験談とディスカッション	すぎはら はるか 杉原 遥さん (甲奴郡森林組合職員)	「林業女子に聞くお仕事トーク」 男性比率の高い林業現場でフォレストワーカーとして働くことについて
	かとう しゅういち 加藤 秀一さん(積水ハウス 株広島支店東店店長)	「育休パパのお困りトーク」 男性育休を取得した経験談などについて
	らん しゅうろう 栞 暁雨さん (中国新聞社報道センター記者)	「メディアから見た『男女』の『らしさ』トーク」 取材で感じる性別に関する固定観念等について
グループワーク (ゲストスピーカーと参加者)	<b>【主な意見】</b> ・会う人ごとに「何で女性なのに林業なの？」と言われたこと自体が、固定観念の実情だと思う。 ・昔は洗剤やおむつのCMのモデルは女性ばかりだったが、今は男性が多く出ていて、逆にジェンダーに配慮し過ぎていると思う。 など、気づきについて意見交換を行い、課題を共有した。	

### (2) ゼミナール形式のワークショップ（今後実施）

テーマに分かれて、5～10人の少人数によるゼミナール形式のワークショップを3回程度開催し、性別に関する固定的な役割分担意識の解消に向けた課題解決策について、意見交換や、情報発信のための作業をグループワークで行い、成果物を発信していく。

#### ア 実施主体

広島県（委託先：公益財団法人 広島県男女共同参画財団）

#### イ 実施時期

令和4年8月下旬～令和5年2月

#### ウ 場所

エソール広島（広島市中区大手町1-2-1 おりづるタワー10階）

#### エ 実施内容（案）

テーマ案		目的
1	男性の家事育児参加と性別による固定観念（8月～）	育児中の男性が、育休取得や育児をする中で感じた違和感や悩み等を話し合い、その内容を発信することで、周囲の人や社会が持つ「育児は母親がするもの」、「父親は外で稼いでくるもの」といった、性別にかかる固定的な意識の変化につなげる。
2	就活におけるジェンダー（10月～）	就活の際に感じる、性別に関する固定観念に係る違和感等について意見交換することで、就活の服装、面接の内容などのジェンダー視点での問題点を探るとともに、グループワークの状況等を発信し、固定的な意識の変化につなげる。
3	メディアとジェンダー（12月～）	ジェンダー視点でメディアの発信内容への違和感や問題点等を意見交換することで、メディアから植え付けられる無意識の思い込みを知るとともに、子どもへの性別による固定観念の刷り込みの問題点などを考え、発信し、固定的な意識の変化へつなげる。

※10月以降のテーマ等は、ヒアリング等を踏まえ、今後変更する可能性がある。

## 4 その他

昨年度の交流会、今年度のキックオフセミナーへは、多様な先輩方の応援参加や協力を得たところであり、今後はエソール広島の活動を応援いただける方をサポーター登録し、引き続き協力をいただきながら、運営、発信等を行う。